

(様式2)新規評価シート

建設部

道路建設課

事業種類	主要な道路の整備		事業名	県単道路改築				
市町村名	須坂市	ふりがな 箇所名	いちむらやまわたちていせん (一)村山綿内(停)線	ふくしま 福島	事業年度 (完了年度は見込み)	26年度～	28年度	
事業概要	区分	事業内容		事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	交差点改良工 1箇所		300,000	国庫	その他	県債	一般財源
	H26年度	関係機関協議資料作成 1式		1,000			900	100
箇所評価	区分	評価項目・指標等	評価区分		①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)	
	必要性	計画交通量	<input checked="" type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input type="checkbox"/> 1,500台以上～ 4,000台/日未満	<input type="checkbox"/> 1,500台未満	10	0.3	26
		代替道路	<input checked="" type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input type="checkbox"/> 代替となる道路がある		15		
		ネットワーク (道路網)	<input type="checkbox"/> バス路線である	<input checked="" type="checkbox"/> 駅やICなどに通じる または 役場と交通 結節点や支所などを 結ぶ路線	<input type="checkbox"/> 左記に該当しない	10		
			<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所 でない		10		
			<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路 ではない		20		
		各事業特有の必要性 (安全の確保)	<input type="checkbox"/> 4.0m未満又は30m 未満又は8%以上 (幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満 (幅員)	<input checked="" type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)	0		
	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離を 図る		<input type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分 であるものを再整備	<input type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離が なされていない	20			
	小計					85		
	重要性	設計上の環境・景観配慮	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮が され確実性が高い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮が されているが確実性 が低い	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮をして いない	0	0.1	3
地域の法的な位置付け		<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に 位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又は、 振興山村、積雪地域、 過疎地域、地震防災 対策強化地域、観光 圏整備実施計画認定 地域に位置付けられて いる	<input type="checkbox"/> 特別な位置づけは ない	30			
小計					30			
効率性	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から 一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満	25	0.2	18	
	事業効果の早期発現 (事業期間)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 6年以上	40			
	コスト削減	<input type="checkbox"/> 全体的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 部分的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input type="checkbox"/> コスト削減はしていない	25			
	小計							90
緊急性	安全性の向上	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所の安全を向 上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所指定はない が安全を向上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険がない	50	0.2	10	
	各事業特有の緊急性 (医療・福祉)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (ネック箇所の解消)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (円滑化が図れる)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に 関係ない道路	0			
	小計							50
計画 熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な 要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	35	0.2	18	
	事業情報の共有	<input checked="" type="checkbox"/> 広く一般に周知	<input type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない	35			
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/> 住民が計画策定に 直接参加	<input checked="" type="checkbox"/> 住民や市町村の意見 を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映 していない	20			
	小計							90
費用対効果(B/C)		9.8	評価の合計				75	
事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史 的経緯・社会的背景	(主)長野須坂インター線は、須坂市と長野市とを結ぶ幹線道路であり交通量も多い。当該交差点については、視距が悪く、車同士の接触の危険性が高い交差点となっている。 本計画は、当該箇所の幅員を拡げ、視距を確保するとともに、歩道を設置し歩行者の安全を図るものである。						
	地域からの要望経緯	須坂インター線の屋島橋の新設時より、本区間の視距が悪く事故が多発していることから、地元より強く要望されているものである。						
	事業説明等の経緯	H25.4須坂市福島区役員説明会実施。早期の実施を強く要望される。						
	環境・景観への配慮 項目	地元と協議を進めていくことで、環境・景観に配慮した設計を実施していくこととする。						
	他事業・プロジェクトと の関連	(主)長野須坂インター線と(一)村山綿内(停)との接続部分であり、須坂市～長野市間の行き来が多く重要な箇所である。						
	特記事項	地元区からは事業の実施を強く要望されており、早期の事業化の必要がある。						
地域 の 合 意 形 成	<input checked="" type="checkbox"/> 全員賛成	<input type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明				
部意見	須坂市と長野市とを結ぶ幹線道路の交差点であるため、危険箇所箇所の解消により、安全かつ円滑な通行を確保するため、平成26年度から事業化したい。		行政改革課 意見	必要性が認められる。				